

⑤医療・福祉について

【会議参加者からの意見】

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
49	新しい町に望むこと	まずは放射能がないこと。暖かい気候。働く場所。断層がないこと。病院と医者、教育の環境。	01福島
83	老人施設	どこかに老人施設をつくって、家族みんなと一緒に暮らしたい。	01福島
120	病院	厚生病院があって、地域の医療に役立った。	01福島
142	福祉	人口に比べての福祉の充実。	01福島
143	福祉	福祉のまち。ハードもソフトもOK。	01福島
144	介護	特老せんだんが建設されて、介護が必要な方には喜ばれるだろう。	01福島
177	医療福祉	医療福祉が進んでいる町	01福島
205	医者	長い付き合いの医者と別れて自分の体が心配。	01福島
246	環境の良さ	近くに病院、商店があり、恵まれていた。	01福島
300	福祉	体の弱い方へも目が届いた。	02東京
332	総合病院	総合病院をつくる。	02東京
376	介護	介護を必要とする人が多く必要だが、人がいない。	02東京
377	町の運営に関して	各町がバラバラでなく、合同でできるものは合同で。	02東京
378	福祉に関して	特別老人ホーム等の介護施設をつくって欲しい。	02東京
488	高齢者	高齢者に今までの生活を取り戻したい。	02東京
490	医療機関	甲状腺が腫れた子どもを避難先に連れていったところ福島県医大に行くと言われた。	02東京
551	将来の町に	今は元気で体も動いて丈夫です。将来、仮の町になっても福祉に力を入れてほしい。	02東京
623	病院	設備の整った病院が欲しい。	02東京
624	医療	双葉町は医療が充実した町だったが、さらに充実した医療を増やしてほしい。	02東京
746	病院	石田医院が近くに欲しい。	03柏崎
747	病院	病院が近くにあるといい。	03柏崎
799	福祉	私たちも老いていくので、充実した施設にして欲しい。	03柏崎
825	福祉	母は喜多方市に入所→館林市に入所	03柏崎
826	福祉	特老はあったが普通の老人ホームが無かったのであったほうがいい。	03柏崎
884	福祉	医療費免除はいつまで続くのか。	03柏崎
885	病院	双葉町ではかかり付けの医者がいたけれども、ここではどこの病院がいいのかわからない。	03柏崎
968	福祉	双葉町には福祉施設があった。	04加須
990	福祉	老人にやさしい。	04加須
1027	いいね	福祉関係も良かった。	04加須
1038	サービス	老人ホームもあり、デイサービスもあり、充実していたと思う。	04加須
1039	福祉施設	新しい人がたくさんいて身寄りのない、家族のない人は多いはずなので、最初から計画に取り入れてほしい。	04加須
1041	集中型	医療モールや総合病院など、あちこち行かなくても用が足りるのが良い。	04加須
1048	仮の町	老人が安心して暮らせる町。	04加須
1096	認知症	認知症になっている人が多いから低価格の施設が必要。	04加須
1097	ノルディックウォーキング	ノルディックウォーキングなど健康増進の技術を導入すべき。	04加須
1098	健康上	今後、健康上の問題が多発する可能性が大きい。フォローが必要。	04加須
1100	心のケア	音楽による精神の健全保持を始める。(太鼓など誰でもすぐに楽しめる)	04加須
1160	医者	いつもお世話になっていたお医者さんがいた。	04加須
1194	特別養護ホームを	特別養護老人ホームをつくった方が良い、いわき市にて。	05いわき
1351	福祉施設	特別養護老人ホームをつくってほしい。	05いわき
1452	福祉施設	南台仮設住宅の空いている土地に双葉町の福祉施設を早く作ってほしい。	05いわき
1453	介護施設	介護施設を充実させてほしい。	05いわき
1490	福祉サービス	避難先での福祉サービスがしっかり受けられるようにしてほしい。その土地の人も利用したいだろうが、私たちの受け皿もしっかり用意してほしい。	06郡山
1492	支援	高齢者、要支援や認定を受けていない人でも利用できるサービスを訴えてほしい。広めてほしい。提供してほしい。	06郡山

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
1503	送迎サービス	病院の送迎サービス等、バスやタクシーの利用が出来るようにしてほしい。タクシーチケット無料利用等。（双葉町なら歩いて行けた）	06郡山
1504	障害者へのサポート	高齢者だけでなく、障害者へのサポートも（身体、精神、知的）もう少ししてほしい。	06郡山
1507	医療費	医療費の無料化。	06郡山
1533	福祉サービス	お年寄りの福祉サービスが充実した町が良い。	06郡山
1565	医療について	以前のかかりつけ医との連絡手段が分からなかった。	06郡山
1566	福祉	厚生病院、さかい先生、石川先生、医療は充実していた。	06郡山
1628	働く人の住む場	老人ホームの移転に伴う職員の住宅を整備してほしい。子どものいる人もいるだろうから。	06郡山
1650	福祉施設	せんだんのような老人ホーム、デイサービス、ショートステイなどが欲しい。	06郡山
1651	タクシー	ぐるりんタクシーの再開。	06郡山
1652	福祉	医療、高速道路の無料化を続けてほしい。	06郡山
1653	医療	甲状腺検査を全年齢無料にしてほしい。	06郡山
1678	医療	かかりつけの医師がいた。	06郡山
1705	支援	生活のパッケージがほしい。（住居、仕事、福祉）	06郡山
1712	戻ってきてくれるのか	お医者さんなどの福祉に関わる方々はまた戻ってきてくれるのか。	06郡山
1770	まちの病院	厚生病院という大きな病院、まちのお医者さんが充実していた。	06郡山
1791	福祉	福祉施設は充実していた。	06郡山
1792	医療の充実	今いる新潟市は医療が充実しているので、仮の町やこれからの町にも望む。	06郡山
1793	医療	医療の担保は期間を決めないで欲しい。	06郡山
1891	生活のパッケージ	復興のためには住宅、職場、サービスのパッケージが必要。	07つくば
1900	介護	介護が必要な夫との距離がずっと離れたままだった。	07つくば
1919	双葉町のいい所	医療環境として、双葉厚生病院があること。	07つくば
2018	福祉サービス	老人が多いために、低価格でサービスが受けられる所が良い。	07つくば
2020	ストレス	双葉町から自殺者が出ないように対策をしてほしい。	07つくば
2021	病院機能	相馬地域の総合病院の復旧を急ぐべき。	07つくば
2131	帰還	帰還する人の年齢構成はかなり高齢になることが予想されることから、老人ホーム的なものを新たに作り、安価で入居できる助成措置を構ること。	07つくば
2155	福祉サービス	デイサービスがあればよい。	07つくば
2156	福祉サービス	お年寄りに対するケアを厚くする。	07つくば
2157	孤立を防ぐ	老人が孤立しない環境をつくる。	07つくば
2230	高齢者の暮らし	一人暮らしの高齢者を助けたい。高齢者長屋のようなところがほしい。	08全体
2231	高齢者のケア	民生委員だけの力では、高齢者のケアは難しい。	08全体
2232	高齢者の住環境	住居+デイサービスを併設した住環境が必要なのではないか。	08全体
2311	治療	病気でリハビリ中の方が、避難によってまともな治療ができなくなった。	08全体
2362	新しい町に必要な機能	新しい町には、ケアホームが必要。	東京G
2363	健康調査への疑問	WBC・甲状腺検査について、役場からの指定での年齢制限（生年）通りに新潟まで受けにいったが、兄弟で来てよかったのと言われ、もっと合理的なやり方で進めてほしいと思った。また、受けにいったも計測だけで策を教えてもらえないことも疑問だ。	東京G
2370	双葉町に戻れないと思う理由	住むことは出来ても仕事場、食べるものがない、帰る事は困難、また病院通いなどを考えると田舎には帰れない。	東京G
2409	指導がない健康調査	セシウム、甲状腺健康調査後の指導がないことがおかしい。	東京G
2451	長期化した場合の懸念	病院や学校は作られるのだろうか。また、仮の町が何年後か長くなればなるほど、さらに戻らない人が増えると思う。	さくらG
2522	双葉町のよかったところ	双葉町では、かかりつけの先生がいて薬の処方にも融通がきく。	日和田G
2658	会津に来るまで	避難は大変だった、うちのお父さんは心臓がわるいためいつも薬を飲んでいましたが、着の身着のままできてどうなることかと思った。双葉町でも、埼玉の避難先でも、大変お世話になった「石田先生」は今どうなされているのか。	会津若松G
2753	福祉	双葉町は力を入れていたと思う。前と同じように、デイサービスやショートステイ、老人ホームもあって、それでも家で皆といられたお年寄りが一番しあわせかも。	南台G

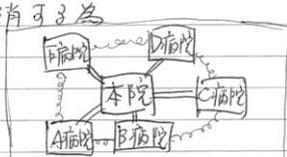
no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2774	介護と暮らし	福島市では、特別養護老人ホームの空きが少ない。 自分（60代）は他に頼る家族がいないので、母親（90代）の介護を1人で面倒見ている。自分の住まいにできるだけ近くの施設に入れないと、通えない。ようやく自分で探して、〇〇の仮設住宅に引っ越しをしたのも最近だが、もう3カ月もすれば施設を退去しなければならない。次の場所を探したくても、母親の面倒を見ながらなので、探すのはとても大変。どこを頼りにしていいかわからない。ケアマネージャーがいないので相談できない。まだ、自分が元気なので良いが、何度も転居するのは9歳の母親にとっては負担が大きい。早く、落ち着いて介護できる生活が送れるように町にお願いしたい。	さくらG
2775	福祉施設が必要	仮の町ができれば、老人ホームのような施設がないとダメ。	さくらG
2883	現在の避難生活で不便なことについて	宮城県〇〇市には、家族5人で避難してきた。父親が96才、母親が98才、病院にも通っているが新規で病院にいくと診てくれるが、持病持ちだと、以前診てもらった病院の系列でないと診てもらえない。	南相馬G
2926	仮の町の場所について	病院に通院している人で、通院が大変など、個人個人で細々した状況があるので、柔軟に対応してほしい。	郭内G
3004	これからの生活場所の希望	子どもが早々に家を出てしまったが、両親は白河市に居るし、福島県を離れたくない。希望する地域はまだ想定していないが、安心して年を取りたいので、医療がしっかりしているところに住みたい。	白河婦人会H
3005	これからの生活場所の希望	震災にあった人たちが安心して余生を送れるところ（病院・社会福祉など）を判断基準にしたい。	白河婦人会H
3022	これからの生活場所の希望	子どもが孫を連れて帰って来られる場所に住むことを考えている。医療機関や生活の利便性を考慮しているが、現在どの地域に定住しようかはまだ希望地を決めていない。除雪の不要な地域を想定中。	白河婦人会H
3024	高齢者福祉施設の建設	避難者は、これからますます高齢化が進むが、国民年金生活者も多いので、いくつかの地域に福祉施設を考えてほしい。福島市、郡山市、白河市など主要都市への建設を考えてほしい。	白河婦人会H
3030	避難所に残る人のケア	いわきに役場が移ったら、残る人のことが心配。皆がついて行くわけにもいかず、福祉関係も一部の人が残って、バラバラになってしまうと思う。やはり、加須市の力を借りなければいけないのではと思っている。	埼玉G
3034	希望する仮の町の場所	高齢者が病院に行くために、公共交通機関が充実した都市に近い所が望ましい。	埼玉G
3078	仮の町への希望	今娘の所にて、元気なうちは手伝いができるが、できなくなったり何かあったときに迷惑をかけられない。町で高齢者の介護つきの住宅をつくってくれれば、そこに入りたい。	埼玉G
3079	仮の町への希望	今は便利な所に住んでいるので、自分で買い物や暇つぶしができる。元気なうちはそれでいいと思っているが、今後双葉町として、高齢者の生活に配慮した仮の町ができるのであれば、町民として戻りたい気持ちはある。	埼玉G
3092	介護が必要な高齢者	避難所にいたかったが、迷惑をかけると思い、借り上げアパートに移ってデイサービスを受けている。	埼玉G
3094	高齢者の自立	仮の町より先に、お年寄りが自立して生活できる場所が必要だと思う。	埼玉G
3324	介護の問題	旧騎西高校には60才以上の人がほとんどだが、そういう人にとっては介護などの問題が一番心配。 自分が1人では生活できなくなったとき、東京にいる子どもたちは、一緒に住めばいいと言ってくれない、やっぱり迷惑はかけたくない。 自分たちも親の介護をしてきたから、その大変さがわかっているのではおさら。 そういうときに、やはり頼るのは役場になる。 役場と一緒に福祉施設が整うのなら県内に戻ることを考える。 （でも、安全な場所。年寄りだって放射線のことは心配なのに変わりない） 後は、少しでも家族が近くにあるいは一緒に生活できるようになることが望ましい。	埼玉G
3367	双葉町の良かった所	厚生病院があり老後の心配がなかった。	つくばG
3469	空家に介護・医療施設を設置	福祉施設ができれば、今まで福祉施設で働いていた職員もいるので、そういう人たちの働く場所としてもよいと思う。	つくばG

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
3475	つくば定住に向けた行動	<p>ここつくばに住みたいという要望を出していくべき。 まちは、住宅や仕事、病院、学校が揃っていないと成り立たない。 ここならそれを心配する必要がない。 線量が高いので、双葉町には100年、200年帰れないと思っているので、 移住するしかないと思う。</p>	つくばG
3485	空家に介護・医療施設を設置	<p>高齢者が多いので、空いてる家を活用して、介護施設や簡単な医療を受けられるような施設をつくってもらえるととても助かる。 自分で遠くまで出ていくのも大変だし、個別訪問してもらうより効率がいい。皆で集まれる場所ができるのも嬉しい。</p>	つくばG

【マイノートからの意見】

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイノート
1	7000人の復興会議について	7000人の復興会議、町民の皆様個々のご意見を聞かせていただき、非常に良いことと思う。双葉町を離れてこれまで一度もなかったことであり、是非対話会に私も参加していきたい。 私自身、将来は双葉の地に戻りたいと思うが、今すぐ放射能に汚染された双葉町に帰りたいとは考えていない。一定期間経過後放射能を除去し、それからが良いと考える。それまでの間、どうするか。やはり仮の町は、放射線を感じることをなくのびのび暮らせる所がよいと考える。いろいろ放射線量について言われているが、年間1ミリシーベルトは厳守。町民がまとまって住める場所、町としての機能があるコンパクトシティ、町人口から考えるとできれば1ヶ所と考えるが、2ヶ所もやむを得ないと考える。ただ、町としての機能はそれぞれに持ちたい。 子供達がのびのび学べる教育施設、病院を核とした健康福祉施設、にぎわいをもたらす商業施設、働く場としての農工業施設、町をリードする行政施設、交通弱者のための交通手段、等々検討していかなければならない。 何年になるか分からないが、仮の町とは言うものの生活の上では仮を感じさせないコンパクトシティであるべきと考える。 行政としてこれから取り組まなければならない、仮の町への法整備、受け入れていただける市町村との連携等、多くの課題はありますが、お待ちしております町民の皆様喜んでいただけるシティづくりをしていきたい。そのためにも7000人復興会議を成功させたい。	ノート
11	双葉町のよかったところ	病院も近くにあり、とてもありがたかった。	ノート
13	双葉町のよかったところ	福祉関係も良かったと思う。	ノート
39	福祉施設	年とった時入居できる施設がほしい。双葉町民だけの施設である必要はないが、双葉町民が優先して入居できるようなものがあればいいと思う。	ノート
45	放射線影響への不安	将来放射線による健康への影響が心配。因果関係を解明する研究をしてほしい。また、健康障害がおきた時の救済措置を考えておいてほしい。	ノート
51	医療施設をつくる	双葉町を残すということにこだわらず、浜通りのどこでもいいから、ちゃんと医師・看護師が不足していない病院を建てるというのも一案だと思う。移住者をひきうける市町村のためにもなる。	ノート
156	病院、福祉施設のこと、健康のこと	これから先暮らすには、便利が良くて、病院関係近くにある所に住みたいです。	ノート
167	個別のことについて	(1)双葉高校を存続させること。 (2)墓地の復旧と今後の維持管理。 (3)新しい避難区域の指定に当たっては放射線量だけでなく、原発からの距離も勘案すべき。 (4)医療施設は震災以前の水準（厚生病院）を確保するよう関係者に強く要請すべき。 (5)仮の町の構想は、設置数を可能な限りしぼること。 (6)中間貯蔵施設は慎重に考えるべきだが、復興を進めるためには避けて通れない問題であり「自分の町だけは認められない」ということは通らない。最小限、条件を付すなどして受け入れを容認せざるを得ないのではないか。 (7)若者の雇用の創出は極めて重要である。企業の誘致について国県とも十分協議して積極的に進めてほしい。	ノート
170	老人世帯の援助	自立によって老人世帯（1人、2人暮らし）が一番大変で、かつ、一番先に解決しなければならない事だと思う。（騎西の避難所特に！）仮の町着工時には、考慮し、自立した生活が送れるよう、早く役場機能を県内移動し、土台を築かなければ何も始まらないように思う。	ノート
178	病院、福祉施設のこと、健康のこと	先だって健康診断（市民病院）に行った際、内科の先生（年配の方）がいろいろと話を聞いてくれて胸のつかえが少し取れた気がする。（感謝）	ノート
189	病院	不妊治療が充実した病院がほしい。	ノート
194	老夫婦二人での暮らし	主人の体が不自由な為、医療設備・介護施設等の整っている場所で生活するのが希望です。	ノート
260	双葉町の良いところ	①双葉町という地名、②進学校である双葉高校があるところ、③環境省百選の水浴場があるところ、④十万山といった里山があるところ、⑤清流である前田川があるところ、⑥正月にダルマ市があるところ、⑦下水道普及率が福島県内トップクラスであるところ、⑧医療環境として、双葉厚生病院があるところ	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
283	コミュニティについて	①これだけ分散し年数もこれからどれだけかかるのか分からないのに答えられないが... 年配の人達はかわいそうだと思うので、双葉町デイサービスのようなのがあれば喜ばれるのでは？ ②パソコンを一家に一台設置して、テレビ会議をする。スカイプ等で健康の確認もとれそう。使う機能だけを教えて皆の参加を広げる。 ③一方的な情報ではなく双方向で！	ノート
354	福祉	前みたいに、買い物、医療機関が近くて、家族と一緒に生活できる場所を作してほしい。年寄がいるので福祉関係は充実してほしい。	ノート
369	新たな生活の支援	個人的には双葉には戻れないと思っているため、自活独立できる方は独立いただき、老人などそれ以外の方には住居を含めた町のフォローが必要だと思う。震災時双葉町に住んでいた人が優先で入居、入所、利用できる住宅、老人ホーム、介護施設などがあればありがたいと思う。学校、病院等はその地域のものを利用させていただき、あまり大がかりな投資にならないように、かつ経済弱者が利用しやすい施設を作っていただきたい。前述のとおり、自活できる方々は自活いただき、それが難しい方のための施設を優先して考えるべきと思う。	ノート
374	町民優先の施設	個人的には線量の高いところには住みたくないの、老人や経済弱者のため住居、老人ホーム、介護施設など、双葉町民優先の施設が用意できればうれしく思う（加須や福島県内に）。そして基本は賠償などをとにそれぞれが自活すること、と現在思っております。	ノート
569	双葉厚生病院	先生や看護師の方々は顔も病気も覚えてもらっているので何でも話せた。病院も家から徒歩で行けたので具合が悪くなくても安心だが、今、通院している所は少し遠いので不安です。	ノート
601	原発避難者は医療費無料にしてほしい	今後、私達の医療費は無料としてほしい。原発避難者として。	ノート
602	こんな原発避難がないようにと願う	私達のみじめな“ひなん生活” 今後日本や世界の人々がこんなことがないようにと願う。	ノート
624	福祉施設、病院	双葉町には立派な双葉厚生病院、福祉施設せんだん、ヘルスケアふたば・・・がある。前述と同じようになるがこれも人が多数戻って来なければ成り立たない。	ノート
765	福祉について	仮の町にはぜひ必要な病院や福祉施設など、老人がひとり暮らしになっても不安のないように役場の近くにあれば安心だ。	ノート
781	要望	・高速道路の無料化の延長 ・健康保険の無料化の延長 ・早く双葉に帰りたいです。	ノート
809	要望（特老）	現在、特別老人ホームに入居するまで、申請手続きをしてから、半年～2、3年待つのは、当たり前になっている。少しでも早く入居できる施設数の確保、設置をお願いしたい。	ノート
810	介護ヘルパー養成を無償化に	介護ヘルパー養成のため、無償で参加できる教育、研修の場を設けてほしい。	ノート
870	サービス	老人ホームもあり、デイサービスもあり、充実していた。	ノート
871	健康不安	今後、健康上の問題が多発する可能性が大きい。フォローが必要です。	ノート
884	要望	透析のできる病院が近くになれば生きてられません。どうか町を創るのなら、病院の整備、設置をお願いしたい。双葉は帰りたいけど、まず無理だと思うので、これから先、住む家を早急に準備できるだけのものが、ほしいと思う。新築のまま、おいてきた家を想うと、苦しい。	ノート
895	要望	仮の町がそのまま町になるのならば、仮の町設置場所に、ぜひ、透析のできる病院をつくってもらいたいと思います。そうでなければ、私たちは、ついていく事ができなくなってしまいます。大野病院は、県立ですよ。双葉、大野、富岡、浪江など八ヶ町村の、もどれない人が全部あつまるような感じでもいいので、そこに、大野病院や厚生病院の先生や看護婦さん、希望してくれる先生方にあつまってもらって、まず、病院をたててほしいです。	ノート
949	福祉について	老人の福祉施設の設置	ノート
950	福祉について	介護をする、人を養成する。	ノート
951	福祉について	老老介護の場合、看護する人の休養の場も作ってもらいたい。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
986	老人の町	<p>私もそうなのですが、多少の放射能なんか気にならない。もう老い先短いだから福島の美しい自然の中で最後を生きたい。そう思ってる方もいるかもしれない。ならば、町全部が老人でもいいんじゃないか？町全体が巨大な老人ホーム。元気な方が介護を必要とする方の世話をしたりして、それがボランティアだったり、収入のあるものだったり。そして線量の低い場所、安全な所に医療学校を作る。お金が無くて医者になれない人も。奨学金をもらっても、学費があつたって生活費がない。だから生活までも面倒を見て、医者を育てる。その学校でヘルパーや理学療法士、薬剤師も育てる。〇ヶ月以上、同じ病院に入院できないという不便を解消するため（図）手術等は本院で。後は期限ごととなりとの病院に転院していけばいい。患者も家族も不安なく長期の入院が出来るシステムにする。当然、医療特区として、国からの補助は必須、それくらいの優遇はいいのではないかと（笑）</p> <p>〇ヶ月以上、同じ病院に入院できない という不便を解消するため</p>  <p>ショッピングモールの様な病院群</p>	ノート
1007	要望3	福祉施設は最低限のサポートが必要である。町の行政もこれらに関わって欲しい。	ノート
1014	せんだんエリア	福祉の面では充実した設備（施設）があつたと思う。1. せんだん（特養ホーム）があり 2. 厚生病院 3. 体育館 4. 公民館 5. せんだん温泉までもあつた。	ノート
1015	せんだんエリア	町民の癒やしの場としても広く利用され恩恵に浴してきたことは有難い。健康増進でも。	ノート
1016	せんだんエリア	これらも交通の便がよければある程度解決できるかと思うが。	ノート
1017	せんだんエリア	救助団体や支援の人材は必要になるかも。	ノート
1018	せんだんエリア	JR線の早急な復活は是が非でも必要である。	ノート
1066	双葉町への希望__仮の町	双葉町としての老人ホーム、介護施設と幼稚園など合同して一か所に作って欲しい。避難地域毎でもよいと思う。名前は双葉ホームなど双葉町の名前のつく公共施設が欲しい。 ※優先的に元双葉町民なら入れて頂けるという条件で双葉町に帰りたい。帰りたくない人が自由に選択できる方向にお願いしたい。	ノート
1086	仮の町への要望__医療福祉施設	現在要介護の人が居るので借上住宅もデイサービスの受けやすい所と思って借りた。仮の町にも医療機関、介護施設を作ってほしい。	ノート
1097	医療、福祉について	双葉厚生病院の存在はありがたかった。介護施設もできることならほしい。	ノート
1175	環境について	住む所だけ作っても生活は成立しない。それ以上のこと、福祉なども考えてほしい。	ノート
1189	意見	総合病院をつくる	ノート
1224	健康について__検査を受けやすい体制に	ホールボディカウンターや甲状腺の検査などを近くの病院などでも受けられるようにしてほしい。その方が検査を受けやすいと思う。	ノート
1235	仮の町__希望の場所	仮の町を作るのなら、いわきにしてほしいと思う。双葉町に近いし、気候も似ているからそう思う。店など充実してほしい。一つの店である程度買い物ができるような場所を作ったら便利だと思う。食品だけではなく、洋服や雑貨、ホームセンターや本など一つにまとめた場があつたら良いと思う。病院も、内科だけではなく他の科もある病院があると良いと思う。他に通わなくても仮の町で何でもできるような町を作してほしいと思う。	ノート
1258	福祉施設。	双葉町には、福祉施設があつてよかった。	ノート
1261	病院が近くにあつて良かった。	家の近くに病院があつて良かった。	ノート
1268	高齢者の心のケア	高齢者の心のケアをしてほしい。何十年も住んでいて、住みなれた土地、家に帰れないのは精神的に大変だと思う。	ノート
1276	国民健康保険一部負担金等の免除の件	免除が無くなると医療費の負担が重圧になり通院の回数を減らすより無くなる。（病状が重くなり良い結果が得られない）現状を維持する為に一部負担金免除の継続を願う！	ノート
1289	町の復興について	町の復興は良いことですが希望通りに行くものか？です。県外に出た人達はどんな考え方をしてるのか、まず第一に生活の事だと思います。職場もないのに帰ってどうしようというのか、老人達の集まりになるのなら施設の様なしっかりしたものでも作つた方がよいのかとも思います。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1298	福祉について	老人が多いため、低価格でサービスが受けられる様に、元気な老人がお互い助け合えるようにすることが大事、そうすればそんなにお金はかからない。	ノート
1312	要望	双葉町（帰還後）病院（厚生病院）福祉施設の再建	ノート
1385	福祉について	新しい町が作られたら、気軽に入所出来る老人ホームを作ってほしい、益々これから必要です。厚生病院や、かかりつけの医者があって、快適な老後が望めなくなった。高齢者は、どこに行っても住みにくくなってしまった。	ノート
1428	■住民独自で「健康手帳」	飯館村の住民有志が独自の「健康生活手帳」を作製・村民に無料配布。プロジェクトは、原発被害者や医師のアドバイスを受け編集し、プロジェクトに寄せられた支援金を活用、発行にあたっては村と合意をかわして村民に配布した。県は県民を対象にした健康調査を実施するが問診票は回収されるため、手元に記録が残されないのが助かりますね。広島大学原爆放射線医科学研究所の星教授も「手元に行動記録を残すことは絶対に必要」と言っています。住民パワーのすごさ、なぜ出来るの？真似できますね。「でもね」がでてくるのが問題なのです。	ノート
1481	福祉サービス	義母さんに対して、ヘルスケアやデイサービス、ショートステイ、病院の連携ができていて、訪問看護も利用できてとても助かりました。	ノート
1518	病院、福祉施設、健康のこと	現在の避難している場所は、病院施設に関しては大変整っており、双葉にいたるときとは雲泥の差を感じる。片道30分くらいで車を走らせれば、専門の大きな病院があります。県内には無い環境です。福島県は医療に関しては大変遅れていると思います。	ノート
1543	医療・福祉について	双葉町には、たくさんの医療があり、子どもを育てるには大変良かった。私も60歳になり、介護施設が大切に思う年になりました。年をとってくると、かかりつけの医療機関が必要である。	ノート
1557	高齢者の実態調査	高齢者は肉体的にも精神的にも限界の方も居るかもしれません。東日本大震災は前例のない大震災であり、有事ですので、分散して医療施設に入れなければならない高齢者がいるかもしれません。実態調査が必要です。	ノート
1575	高齢者への対応急務	高齢者や体の不自由な人が安心して暮らせる施設の提供が急務です。避難生活が長期化し、体力的にも精神的にも限界かもしれません。	ノート
1675	社協の巡回に涙	大雨、雪、遠く会津に来られるたび悪天候です。でも「双葉町社協です」と声をかけられるとなぜか涙が出ます。70才を越えた老夫婦には「顔」「声かけ」「双葉」に弱いのです。元のようにもっと身近に福祉の拠点があれば良いな。早く出来ることを願っているよ。	ノート
1682	医療・福祉について	高齢者が多くなっているの介護施設は、仮の町でもいいから作ってほしいです。私も73才になるし子供に世話になろうとは思いません。	ノート
1685	放射能	東電の放射能は目に見えないから空から雨といっしょにどこにでもあると思う。これからの若い人や子供さんの事が心配です。この人達の人生が最後まで国や東電が医者に行く時もみてくれればいいが。	ノート
1689	健康	心身の健康管理は現在も将来も必要であり、このための具体的な方法を示す必要がある。単に、理念だけではダメ！つまり、人・もの・カネ・情報 etcをどう工夫の上集約するのか、その具体性が大切。	ノート
1690	福祉	避難生活にともなう特有の福祉対策は重要。福祉支援に至る前の予防策をどう確立するか。国は「原発避難者特例法」を策定して運用を各自治体にまかせているが、充分な運用がなされていない。自治体間の温度差がある。更なる実効性のある運用を求めるべき。	ノート
1737	帰還者の福祉施設	帰還する人の年齢構成はかなり高齢になることが予想されることから、老人ホーム的な施設を建設すると共に、安価で入居出来るよう助成措置を講ずるべき。	ノート
1770	入居施設について	震災時、せんだんに入居中で所員の皆様のあたたかい介護で元気に過ごしていましたが、警戒区域となり受入れ先の施設で所員の大変なご苦労があり、現在の〇〇苑に入居できた。震災前は要介護度3であったが、現在は5となり元気がない。また、福島（借上げ住宅避難中の長男）から那須まで、面会、行事等に遠く大変である。早く仮の町を進め、併せて介護施設の設置をお願いしたい。福祉の充実はこのからの生活する上で大変重要です。避難生活で心身共に疲れて切ってるのは現状です。これから要介護の人達が増えると思いますので、国・県からの予算を確実に進めてもらいたい。（長男記入）	ノート
1781	福祉（医療）について	特老施設の増設、在宅医療の整備	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1872	介護、医療施設の設置	介護施設を医療機関が近くにある所を作って早く老人を迎えてほしい。今まで頑張って双葉町を築いて来た人達だから。	ノート
1884	双葉町の福祉環境	せんだん温泉あり、せんだんの大きな福祉があっても頼れる町でした。	ノート
1926	高齢者に安心の暮らしを	私も含めて今後老人は増える一方です。どうぞ福祉施設を充実させて下さい。そして希望したら待つことなく入所できるように、病院も同じことです。そしたら不安が少しでも無くなるのではないのでしょうか。	ノート
1929	健康検査について	全国どこの病院でどのような科があり、どこで受診できるのかの一覧表があれば、大変役立ちます。	ノート

【インターネット会議からの意見①（各会議意見へのコメント）】

※「コメント」とは、各会議会場の発言として専用ホームページ上に掲載された意見に対して、インターネットを通じて投稿された市民の意見・提案のこと。
 ※「いいね」とは、投稿された意見に対して賛同のボタンを押されたもの。

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット会議 (対象会場)
1194	特別養護ホームを	特別養護老人ホームをつくった方が良い。いわき市にて。		05いわき
1194	コメント1	財源、職員確保 様々な問題ありますよ。		05いわき

【インターネット会議からの意見②（HP上の意見及びコメント）】

※「HP上の意見・コメント」とは、専用ホームページに登録し、ホームページ上で投稿された町民の意見・提案のこと。

※「いいね」とは、投稿された意見に対して賛同のボタンを押されたもの。

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット会議
29	仮のまちづくり	<p>いわき市に役場移転をするんだったら、みんなで暮らせる土地をかくほしてもらいたいよな。 双葉町7000人の復興会議ってなんなの？ いわき市の勿来地区ってどういうことなのよ？ まちづくりの話し合いだからいろいろ提案しようぜ ま～いわき市のどこの地区でもいいけど</p> <p>教育環境の整備、福祉の整備、住みやすい環境の整備、交通網の整備 私の見解から第一に住みやすい環境の整備をしなくては、誰も住んではくれないな。 住みやすい環境って言えば全部入るけどな</p> <p>まちと一緒に造るもの 総合病院と個人医院＝専門診療のできる所と接骨医院等と、 幼稚園、学校、体育館、グラウンド、図書館、福祉施設、老人ホーム、 スーパー、コンビニ、百元ショップ、駅</p> <p>みんなの生活に必要なものは造ってもらうべ 考えるといろいろあるけどな みなさんはどう考えてるのかな？ 提案をだしてください。 あちらこちらでまちの復興会議してるけど、あんまりみんな出てこないよな。 こそもそうだけど、</p>	4	HP
29	コメント1	<p>いわきに関わらず、いろいろ苦情など問題が出てるようですね。 いわきならいわきに転入すればいいんですよ。戻れるようになったなら... 転出すればいいし。あと、その町に住んでいる以上税金は納めるべきですね いろいろお世話になってるんだから当然と思う。せめて納税していれば文句も出ないんじゃないですかね。</p>	2	HP
56	医療費の補償	<p>現段階では、放射能がどの程度将来に体の影響があるか分からない。 以前、町が主張する医療の永久無料（放射線手帳）を強く望む必要がある。 次のことは原発がもたらす影響かどうかは定かではないが、『奇形の赤ん坊』の出生率は、双葉郡地方は少なくない。発表していないだけである。 将来、これらに関する事が増加しても、放射能と因果関係がないと言われた場合、補償されない。再び町民がさらに苦しむことになる。 放射線による影響は上記内容だけではなく、我々の体に将来何らかの形で影響するかも知れない。 だから、今の段階で『医療費の無料の永久継続』を国に望む。</p>		HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
75	放射線の影響を考える。(3) new york times	<p>In Japan, a Long-Term Study on Radiation Leaks' Effects Published: October 10, 2011</p> <p>In an effort to track the long-term health effects of the nuclear disaster at Fukushima, Japan has begun a survey of local children for thyroid abnormalities, a problem associated with exposure to radiation. The study comes in response to concerns over the health consequences of the serious radiation leaks caused by multiple meltdowns at the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station in March. Japanese officials hope to study about 360,000 children who were under 18 at the time of the accident and track their health through their lifetimes, according to Fukushima Prefecture officials.</p> <p>Children and pregnant women are particularly sensitive to radioactive iodine, which can harm the thyroid, studies after the Chernobyl nuclear disaster in 1986 have shown. According to research presented at a 2006 global conference, at least 4,000 cases of thyroid cancer among children have been linked to Chernobyl's fallout.</p> <p>On Sunday, the first day of the Fukushima study, more than 100 children were tested. Specific test results will not be made public, according to Fukushima Prefecture. But the children, who will be tested every two years until they turn 20 and every five years after that, will receive further care if doctors discover abnormalities.</p> <p>この文章は、Newyork Times 2011.10 福島第一の高濃度放射能漏れの記事の抜粋したものである。放射線の影響について記事である。特に子どもや妊娠中の女性に対しての度放射線の影響を懸念している。 最後の文章は、この地域の町村がもっとも力を入れるべき課題の一つである。健康診断の定期検査はもとより、少しの異常が見つければ、相当の年月を国が責任を持って、検査させる責任を持たなければならない。海外でもこれほど、関心を寄せている。日本の国もこれに恥じないよう対処することを強く願う。</p>		HP
78	甲状腺検査説明について	<p>『保護者なお心配 郡山で「甲状腺検査」初説明会 東京電力福島第1原発事故の発生時に18歳以下だった県内の子どもを対象に甲状腺検査を進めている県と福島医大は4日、郡山市で保護者ら県民を対象に不安軽減に向けた初めての説明会を開いた。同大は「検査について丁寧に説明できた」としたが、保護者からは「検査結果は信用しているが本当に子どもたちの将来は大丈夫か」との声が聞かれた。検査結果をめぐって、いまだ不安が根強く残る保護者との意識の違いが浮き彫りとなった。</p> <p>説明会は、受診した約4割が小さな袋状の嚢胞（のうほう）やしこりが見つかったものの、大半が「2次検査必要なし」の経過観察と判定され、「結果が分かりにくい」とする保護者の声に応えて実施。 検査で10歳と6歳の娘2人にしこりが見つかり、経過観察と判定された郡山市の30代男性は「検査は信頼している。ただ、しこりについての話をもっと聞きたかった」と不満を漏らした。』 (2012年11月5日 福島民友ニュース)</p> <p>いつもこのような記事を読むと疑問が残る。 保護者が、心配している単純な疑問になぜ解決されるような回答がないのだろう。将来絶対大丈夫と言う確信、自信がないからなのか？ 『二次検査必要なし』とされたしこりでも、やはり親であるならば、もっと詳しく説明され安心したいのは、当たり前である。 なぜお互いに『認識の違い』が出てくるのか？理解できない。</p>	1	HP
78	コメント1	<p>まるで国会議員の答弁書のようなカキコですが、明日食べるものが無い状況で復興住宅のことを考えては？？ここはスレ違いww</p>		HP